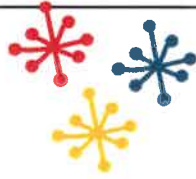


ほんとあそぶプラス



おすすめのえほん



『アリのメアリ』

いわたまこ/作 BL出版 2022

「センス・オブ・ワンダー」の世界!!

道ばたや公園で出会う小さな生きものたちのおはなしです。ページをめくるそのたびに、美しい色、ふしぎな形や模様にとり。お散歩してみませんか?と、切り絵作家は呼びかけます。(HF)



ふたりって、すてき

『りすとかえるのあめのたび』

うえだまこと/作 BL出版 2022

りすくんとかえるくん、なかよしふたりの小さなふねの旅。やさしい言葉と絵から、雨の音や風の感触、森の静けさが伝わってきます。『りすとかえるのかぜのうた』もどうぞ。(T)



『ちいさなハチドリのちいさないってき』

ウノサワケイスケ/著・イラスト はしづめちよこ/その他
イメージネーション・プラス 2022

とっても小さな鳥ハチドリのおさな一てき。何度も何度も運ぶのを見て笑っていた動物たち。森を助けるためにはどうすればいいでしょう。南アフリカ、南米アンデス地方の民話がカラフルで美しい絵本になりました。(JY)



『とうちゃんはりょうりにん』

はしもと えつよ/作・絵 ニコモ 2022

ぼくの晩ご飯は毎日父ちゃんを作る魚料理だ。すごく美味しいけれど、たまにはぼくだってハンバーグが食べたい。思いきって父ちゃんに言ってみたら…。父ちゃんの心意気がとてもゆかい。(S)



『ねこのオーランドー裁判官になる』

キャスリーン・ヘイル/さく
こみや ゆう/やく 好学社 2022

『ねこのオーランドー』シリーズ、今回はオーランドーが裁判官になって事件を解決します。子猫たちも大活躍。表紙はイギリスの裁判官のカツラ(コートではありませんよ)をかぶったオーランドーの誇らしげな姿です。(A)



『ゆかしたのワニ』

ねじめ 正一/文 コマツ シンヤ/絵 福音館書店 2022

なぜぼくちのゆかしたにワニがいるのかな?なぜ毎晩はみがきするのかな?はみがきおわるまでワニにかまれないかな?むしばのてんけんもしてるよ。ドキドキ。高知県生まれの作家が描いたふしぎでゆかいなおはなし。(JY)



『ノウサギの家にいるのはだれだ?』

さくま ゆみこ/再話 斎藤 隆夫/絵
玉川大学出版部 2022

ノウサギの家を乗っ取ったのは、ちっぽけな青虫でした。大声で「おれは、つよくて、ゆうかんな戦士だ」と言う動物たちは逃げだします。日本画の技法で描かれたケニアの動物の表情が楽しい。(KI)



『クリシュナのつるぎ』

秋野癸巨矢/文 秋野不矩/絵 BL出版 2022



クリシュナはインドの神さま。美しく、やさしくて力も強い、そのうえ笛の名手でもあります。そして、悪い王様をやっつけるという正にヒーローです。秋野不矩氏の鮮やかでシャープな絵がクリシュナを忘れられないものにしてくれます。(A)

『おなおしやのミケばあちゃん』

尾崎 玄一郎/作 尾崎 由紀奈/作 偕成社 2022



ようこそ レトロ空間へ

流行らない駄菓子屋の裏の仕事、いや“下”の仕事は、古いおもちゃの修理屋。

おもちゃがまた目の目を見られるように、いつだって猫のミケばあちゃんは応援をおしまい! (TY)

『ライラックどおりのおひるごはん』

みんなでたべたいせかいのレシピ』

フェリタ・サラ/作 石津 ちひろ/訳 BL出版 2022



あなたなら、何を作る？

ピラールの作るサルモレホ、ムツシュー・イブラヒムの作るババ・ガヌーシュ、ペネロペとマイルスの作るスパナコリゾ…。どの料理も材料が揃えば、この本を見て作ることができます。世界にはおいしい料理がいっぱい! (AK)

『あの子はぼくらのスーパースター』

フラン・ピンタデラ/文 ラクウェル・カタリーナ/絵 せなあいこ/訳 評論社 2022



マダーニくんは、はだしてサッカーをする。ぼくたちのチームの最高の選手。ぼくたちのほこり。それはね…。

マダーニくんもチームのみんなも素敵。スペインからの絵本です。(T)

『わたしとあなたのものがたり』

アドリア・シオドア/文 エリン・K.ロビンソン/絵 光村教育図書 2022



クラスでただひとりの黒人のわたし。奴隷制度の勉強をした時、みんなの視線を感じていたたまれない気持ちになった。

学べることは当たり前のこと、望めば何にでもなれる。それがあなた(娘)の物語。(K)

『すずばあちゃんのおくりもの』

最上 一平/文 黒井 健/絵 新日本出版社 2022



すずばあちゃんは、うば車を押して村の中をゆっくりと歩きながら、道ばたに草花の種をまいていきます。季節ごと村のあちこちで咲く花々に、うれしそうに話しかけるすずばあちゃんには、花への深い思いがあったのです。それは…。

(F)



おすすめの物語

『おもちゃ屋のねこ』

リンダ・ニューベリー/作 田中 薫子/訳 徳間書店 2022



大おじさんのおもちゃ屋にかしこそうな緑色の目の猫がやって来た。ハティは猫にクルリンと名付ける。クルリンは、お客さんが欲しいものを目につきやすくしてくれ、おもちゃは次々と売れた。

ある日お店にちょっと風変わりな老夫婦が訪れた。その日から不思議なことが起こり始める。(K)



『やんちゃ犬おおさわぎ!』

デビ・ミチコ・フローレンス/作 メラニー・デマー/絵
くまがいじゅんこ/訳 あかね書房 2022



カイタの家族は「あずかりおうえん団」として保護された犬をしばらくあずかることになった。やってきたのは、犬のトルーマン。それはそれはやんちゃで、来る日も来る日も、おおさわぎ。でも毎日が本当に楽しくて、このまいうちの犬になってほしい!!

ところが、新しい飼い主がみつかりそうだという電話が… (YO)

『はじめましてのダンネバード』

工藤純子/作 マコカワイ/絵 くもん出版 2022



蒼太のクラスに、ネパールからの転校生エリサちゃんがやってきた。

たどたどしい日本語の自己紹介の後、口をつぐんでしまい、タブレットの翻訳も焦れたい。特別扱いのような学校生活を同級生に理解されない。もどかしさを募らせる中、エリサちゃんは学校に来なくなってしまふ。

気がかりな蒼太はある体験をして、引っ込み思案な蒼太だからこその気づきを声にする。(TY)

『ぼくのちいばっぱ』

長江優子/作 早川世詩男/絵 ゴ布林書房 2022



イタルの日常は、大切にしていたオカメインコのチーパがいなくなっからは、すっかり非日常になった。何でもチーパの姿に見えたし、色々な音がチーパの声に聞こえた。チーパの好きな「ちいちいばっぱ」を歌いながら、毎日探し回った。

愛するペットを失くした時のつらい気持ちさがよみがえってきます。(KI)

『トラからぬすんだ物語』

テュ・ケラー/作 こだまともこ/訳 評論社 2022



トラが語るハルモニの過去

ワシントン州で暮らすハルモニのところへ引っ越してきた私とお姉ちゃんとママ。おしゃれでカッコよくて、朝鮮半島の昔話をしてくれたハルモニの様子がいいつもと違う。突然目の前に現れたトラは、ハルモニを助けてくれるというけれど…。(AK)

『ロドリゴ・ラウバインと従者クニルプス』

ミヒャエル・エンデ+ヴィーラント・フロイント/作 Junaida/絵
木本栄/訳 小学館 2022



少年クニルプスは人形劇団の両親のもとを離れ、うわさの盗賊騎士ロドリゴ・ラウバインのところに、従者にしてほしいと押しかける。そして大悪党になるために、度胸試しの旅に出かけることになった。

ところが、魔術師が悪事を企てる宮殿で、王女や王を助けることになるクニルプス。笑いとスリルの連続は人形劇の世界のようだ。(M)

『ロンドン・アイの謎』

シヴォーン・ダウド/著 越前敏弥/訳 東京創元社 2022



巨大な観覧車であるロンドン・アイに乗りこんだ、いとこのサリム。ぼくテッドは、それをしっかり見たのにサリムは降りて来た人の中にいなかった。サリムはどこへ消えたのか？独特な感性を持つテッドが姉のカットとその謎を解き明かす。

論理的な謎解きと人間関係が細やかに書きこまれ厚みのあるミステリだ。
(H)

『13枚のピンぼけ写真』

キアラ・カルミネーティ/作 関口 英子/訳 岩波書店 2022



第一次世界大戦が始まり、13歳の少女イオランダは、出稼ぎしていた家族と北イタリアの故郷の村に帰ることになります。やがて、父や兄は戦場へ行き、母と引き離され、妹と共に母方の親戚を訪ねます。そこで家族の秘密を知り、危険ななか祖母を探す旅に出ます。家族の絆を取り戻し、懸命に生きる少女の姿に胸が熱くなります。

(N)

『パンに書かれた言葉』

朽木 祥/作 小学館 2022



東日本大震災直後の春休み、中学生のエリーは北イタリアに住む母方のノンナ(祖母)の家で過ごします。そこで、17歳でナチスに殺されたノンナの兄パオロが遺したパンに書かれた言葉と出会います。本書は、被爆二世としてヒロシマの記憶を語り続ける作者が、エリーに託してイタリアと日本をつないで“戦争の記憶”を紡ぐ物語。

(KW)

『ソロ沼のものがたり』

館野鴻/作 岩波書店 2022



大きなソロの木の根元に、何百年も前からある沼。大ぜいのかえろが住みつき、やってくる小さな生き物たちの生と死をかけた営みがくりひろげられてきました。みずすまし、おけら、じゃこうねずみ…その生態がリアルに詩的に描かれていきます。

『しでむし』や『つちはんみょう』などの作者が描く壮大ないのちの物語。作者自身による挿絵も美しい本です。

(O)

おすすめのその他のジャンル

『アマゾン川 熱帯雨林・生命の源』



サングマ・フランシス/文
ロモロ・ディポリト/絵
ゆらしょうこ/訳
徳間書店 2022

アンデス山脈から流れ出て、世界一の熱帯雨林を作りだしているアマゾン川。水の流れ、生きものたち、森に暮らす人びと、これからの課題など、巨大な川が持つ世界を迫力ある大きさで見せる。

(H)

認定NPO法人高知こどもの図書館
選書委員会

『うまれてくるよ海のなか』

高久至/しゃしん かんちくたかこ/ぶん アリス館 2022



「海の魚の多くは、お父さんが卵をまもるのはなぜ？」から生まれた写真絵本。たくさんの卵は海の中でキラキラ輝く宝石みたい。その命を守る生き物たちの営みの不思議さに驚かされる。楽しく面白く、発見がいっぱい。

(KW)

『和ろうそくは、つなぐ』

大西 暢夫/著 アリス館 2022



和ろうそくは手で作られる。ハゼの実取り、蠟を作る、和紙に蠟をまく、それぞれの工程に技術を持つ職人がいる。蠟カスは藍染作りに使われ、藍染で使い終わった灰は焼き物に使われる。捨てるものはひとつもない。

(M)